

木山千景ノ怪顧録

木山千景

人の魂の色を視られる病弱な大学生。延命の方法を探るために帯刀に弟子入りした。出不精で人付き合いが嫌い。目元を見られないように前髪を長く伸ばしている。



帯刀燈

山の神と契約を交わした、人と怪異の仲立ちをする定めを持った一族の当主。強靱な肉体の持ち主で、酒と煙草と女に目がない。多数の式神を使役する。